

芸大コレクション展「資料は繋ぐ - 名作と下絵・連作」

会 場：東京藝術大学大学美術館（台東区上野公園 12-8）

会 期：2005年4月8日（金）～5月29日（日）46日間

休 館 日：月曜日（ただし5月2日は開館）

開 館 時 間：10：00～17：00（入館は16：30まで）

問い合わせ：03-5777-8600（ハローダイヤル）

観 覧 料：一般 300 (250)円 学生 100 (50)円 (中学生以下は無料)

*()は団体料金で、20名以上に適用されます。

(団体観覧者20名につき1名の引率者は無料)

*巖島神社国宝展(3月25日～5月8日)をご覧のお客様は無料でご覧頂けます。

主 催：東京藝術大学

【展覧会概要】

東京藝術大学ではその前身であった東京美術学校の創立以来、教育、研究を目的とした芸術資料の収集に努めてきました。その内訳は、美術品に限らず、作家や作品にまつわる資料、制作、教育、美術史研究のための資料まで多岐にわたるものです。これら資料に関する基本的な情報は、過去に刊行された収蔵品目録、年報などさまざまな方法で記述されてきました。

大学美術館では開設準備の頃より、これら資料情報のデータベース化を進めてきました。データベースの開発にあたっては、美術館内外の研究者・教育者から一般の美術愛好家までが、広くそれぞれの目的にあわせて活用できるような柔軟性が求められました。そこでこのデータベースでは、これまでに記録されてきた情報をもう一度編集し直すのではなく、それぞれを「関連付ける」という方法で組み立てています。このような構造をもったデータベースで検索すると、あたかも点と点の間に線が引かれるように、作品と作品、作品と作家といった個々の情報の関係が浮かび上がってきます。そのことにより、くり返し語られてきた専門的な文脈にとらわれず、意外な図像の組み合わせに気づいたり、人物や資料の繋がりなどを発見したりするきっかけをもつくりだします。

この展覧会では、このような芸術資料の連鎖に焦点をあてながら、高橋由一「鮭」、原田直次郎「靴屋の親爺」、浅井忠「収穫」、上村松園「序の舞」、狩野芳崖「悲母観音」といった芸大コレクションを代表する名作とともに、下図、写生、習作、また東京美術学校の教官やその当時交流のあった学外の美術工芸家による連作など、約70件を紹介していきます。

【展示構成】

第1章 高橋由一と写生帖

日本近代洋画の中で広く一般に知られている傑作といえば、まず高橋由一の「鮭」が思い浮かびます。由一は近代日本洋画の先駆者であり、その名作が生まれる背景には緻密な油画研究が存在することもよく知られています。大学美術館の収蔵品データベースでは、2004年度より画帖形式の芸術資料の画像公開を始めるにあたり、まず由一資料のなかから7冊におよぶ写生帖の全画像の公開に踏み切りました。ここではそれを記念して、名作「鮭」や水彩画とともに、この写生帖を公開します。

第2章 芸術資料の連鎖

東京美術学校の教官達が、共同で様々な依頼製作を手がけていたことは、今までにも紹介されてきましたが、あまり目立たない小連作のなかにも、横断領域的な異色の顔合わせや全く別の作品への関連など、思いがけない芸術資料の連鎖が浮かび上がってきます。ここでは、いくつかの連作を紹介するとともに、その中から数人の作家を取り上げ、開館以来あまり公開されてこなかった名作・秀作を展覧します。

第3章 洋画: 人物

原田直次郎、原撫松、黒田清輝、藤島武二らをはじめとする近代日本美術を代表する洋画家の名作を小作品、裸体習作などとともに紹介していきます。中でも熊谷守一においては、このたび110点におよぶ裸婦集・素描集の画像をデータベース公開するにあたり、これらの素描作品にあわせて東京美術学校時代の裸体習作、後年制作された2点の裸婦等の油彩画を紹介します。

第4章 洋画: 風景

大学美術館の日本近代洋画を代表する風景画といえば、浅井忠作「収穫」があります。ここでは「収穫」を中心に、浅井の素描画、その師フォンタネージの油彩画と素描画を展覧するとともに、東京美術学校にゆかりのある久米桂一郎、藤島武二、山本森之助、南薫造、橋本邦助らによる油画・水彩の秀作、また水彩画の先駆者であった三宅克己の作品などを紹介します。

第5章 日本画と下図

大学美術館が所蔵する日本画の名作には、横山大観作「猿廻」と「村童観猿翁」のように、制作年代を前後して共通のモチーフを題材としてその関連性を想像させる複数の作品から、下図のように直接的な関係資料まで多岐にわたり残されています。ここでは、構図違いの下図、幾度にわたり作成された下図、本作さながらの下図など、日本画を代表する名画とその多彩な下図資料などから名作の生まれるプロセスを浮き彫りにします。

【主な出品作品】

高橋由一「鮭」、原田直次郎「靴屋の親爺」、浅井忠「収穫」、上村松園「序の舞」、
狩野芳崖「悲母観音」

前期と後期で一部作品の展示替えを行います。

(前期：4月8日(金)～5月8日(日)、後期：5月10日(火)～29日(日))

【貸し出し画像一覧】



高橋由一「鮭」
狩野芳崖「悲母観音」
上村松園「序の舞」
浅井忠「収穫」

東京藝術大学大学美術館所蔵

展覧会についての問い合わせ、画像借用の申し込みは下記までお願い致します。

広報担当 須藤千佳

Tel: 03-5685-7744 Fax: 03-5685-7805 E-mail: sudo@off.geidai.ac.jp

展覧会担当 小川真理

Tel: 03-5685-7685 Fax: 03-5685-7692